

バランス工法擁壁 (フロントブロック)

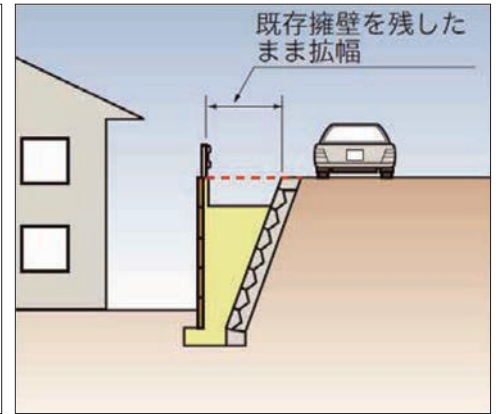
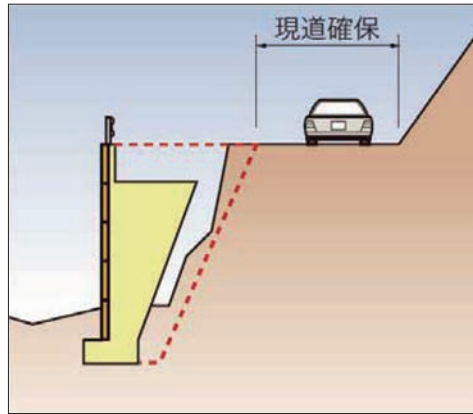
バランス工法擁壁PATとは？

底版幅より上辺幅のほうが広い、逆台形コンクリート擁壁工法で、実績も十分にあります。

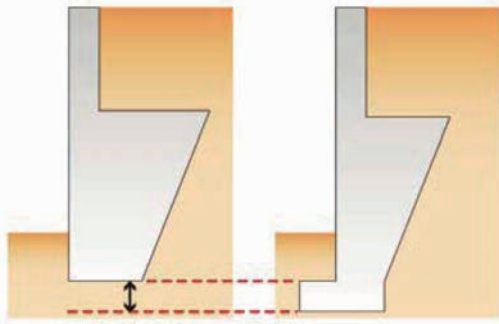
様々な利点を持ち合わせた形状で、前面には耐久性、景観に優れた石肌模様のプレキャストブロックを使用します。

■ 特 徴

1. 基礎幅が従来擁壁の2/3～1/2で背面の掘削幅が少なく、工期の短縮工費の低減を図れます。
2. 通行止め（車線減少）をしないで施工ができます。
3. 前面にプレキャストブロックを使用するため、施工が早く安全です。
4. 既設の擁壁（構造物）を残したままの拡幅工事も可能です。
5. 特に山岳部の急斜面での道路拡幅、新設工事にバランス工法の特長を発揮することができます。
6. 埋設物（光ケーブル、ガス管、水道管、下水道管）など敷設替えを回避できます。

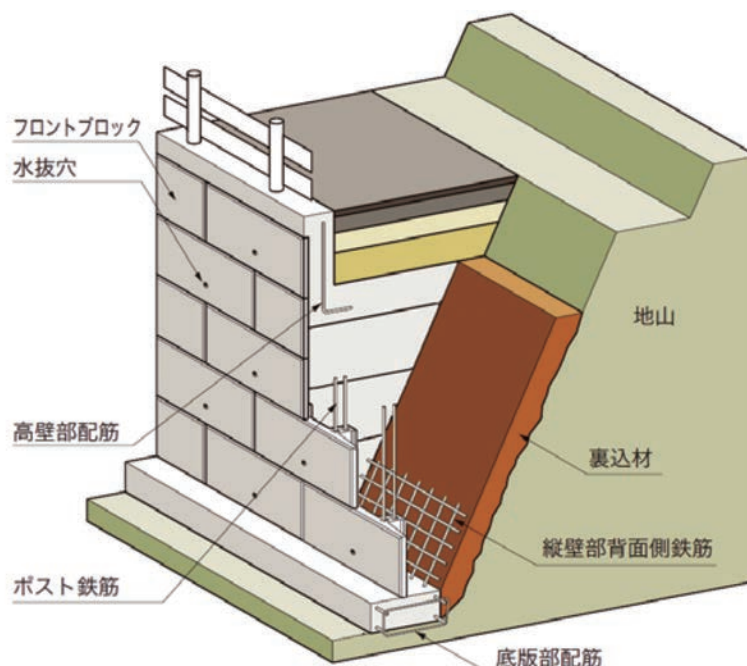


底版有タイプとの比較



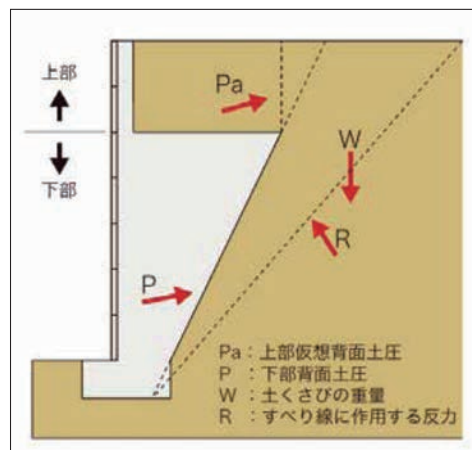
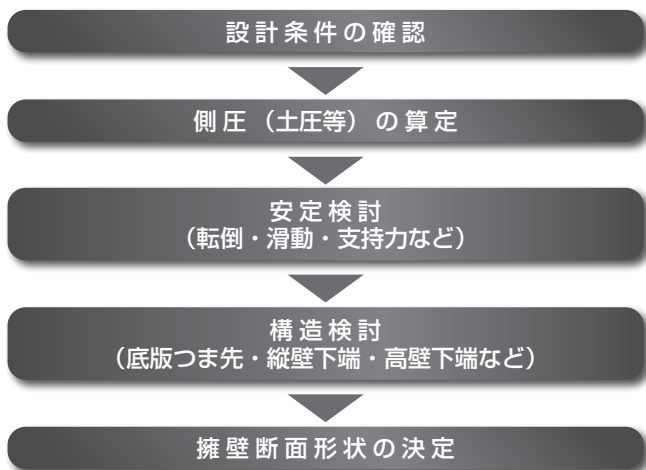
- ◆掘削にある程度余裕があれば、フーチングレス断面での検討も行えます。
 - ◆フーチングレスにすることで擁壁高を低くできます。
 - ◆フーチングレスの場合、構造鉄筋が必要でなくなる場合があります。
 - ◆フーチングありとなしでは、ない方の壁体が断面積が大きくなります。
- ※どちらかの経済的な断面を選定します。

■ 標準敷設図

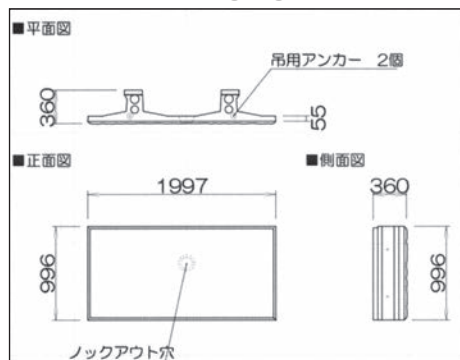


【設計事項】

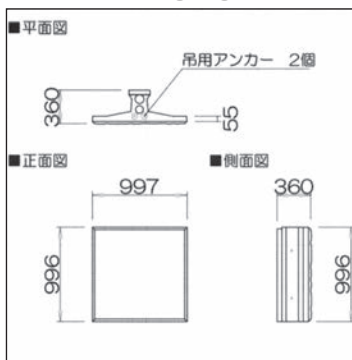
「道路土工—擁壁工指針（日本道路協会）」に準拠し設計しています。



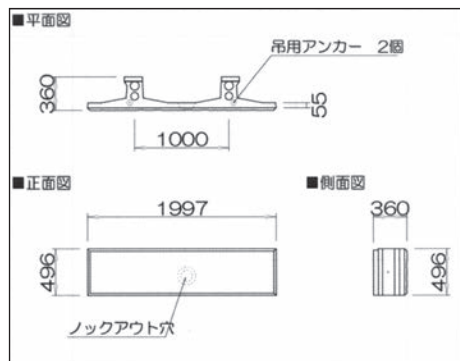
F2010



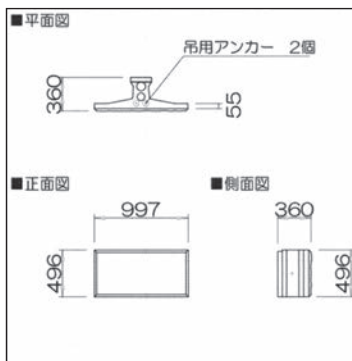
F1010



F2005



F1005



■ ブロック固定用モルタル使用量 (1:2)

呼び名	モルタル数量 (m ³)
ブロック 1m ² 当り	0.012
F2010	0.024
F2005	0.012
F1010	0.012
F1005	0.006



■ 標準歩掛

呼び名	規格 長さx高さx幅	参考質量	1日の標準据付数		労 務				トラッククレーン
		kg/個	m ²	個	世話役	特殊作業員	普通作業員	小 計	
F2010	1997x996x355	622	—	—	—	—	—	—	—
F2005	1997x496x355	302	—	—	—	—	—	—	—
F1010	997x996x355	304	—	—	—	—	—	—	—
F1005	997x496x355	156	—	—	—	—	—	—	—
※標準歩掛 (バランス工法 10.0m ² 当り)		—	70	33~43	0.07	0.14	0.50	0.71	0.15

※フロントブロック <150m² (L=30.0m x H=5.0m) 以上の標準歩掛>

※現場条件が異なる場合は、別途考量してください。

※トラッククレーンは油圧式10~11t吊を標準としていますが、現場条件により適合した機種を計上してください。

※施工場所によりブロックを仮置きすることができない場合は、補助クレーンとして現場内運搬用にクレーン付トラック (2.9t吊) を計上してください。

施工写真

